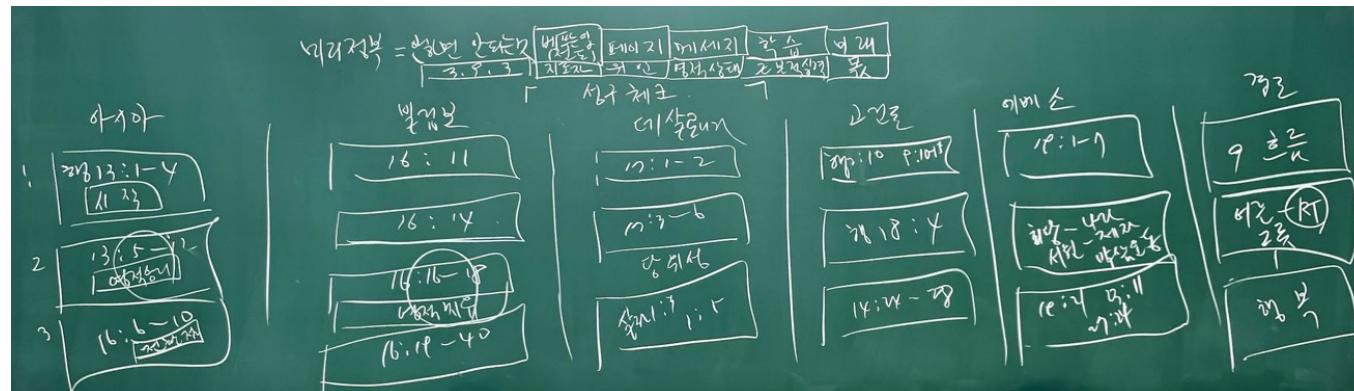


区分 → 核心/レムナントデイ

題目 / 聖書 → 5月学院福音化

講師 → 柳光洙牧師

日時 / 場所 → 2022年4月23日 / 大邱ハナ教会)



22.4.23 核心 RTday

あらかじめ征服 = しなければならないこと

3, 9, 3

与えること(伝道)	1ページ	メッセージ	学習	未来
指導者	偉人	靈的状態	根本的実力	分け前

「聖句チェック」

アジャ

ピリピ

テサロニケ

コリント

エペソ

結

9流れ

1. 使13:1-4
始まり

16:11

17:1-2

使 2:10, 9:10-15

19:1-7

おとな -RT
器

2. 13:5-12
靈的勝利

16:14

17:3-6

使 18:4

会堂 - 御国
講堂 - 弟子
みことば運動

幸せ

3. 16:6-10
ターニング
ポイント

16:19-40

Iテサ 1:3, 1:5

19:21, 23:11,
27:24

要約

あらかじめ征服=しなければならないこと 3・9・3 : 今月フォーラムする主題はあらかじめ征服だ。あらかじめ征服するためには 3・9・3をしなければならない。神様がくださった一番重要な事が私のことになるべきだ。

与えること(伝道) 指導者

：「私は3・9・3で世界を生かす指導者だ」そのためには毎日1つずつ助けることをしなさい。これが伝道の門になったりする。みなさんは、指導者となる。この勉強を毎日のように実際にしなければならない。

ページ 偉人

：毎日1ページでも私に力となる本を読みなさい。偉人に関する話が良い。

メッセージ 靈的状態

：必ずメッセージは1つ聞きなさい。牧師の説教を詳しく聞かない人は必ず失敗する。これは、私の重要な靈的状態となる。これによって、答えが来たり来なかったりする。

学習 根本的な実力

：今日学んだことと次に学ぶことを見ることは、とても重要な学習だ。根本的な実力を備えるようになるのだ。

未来 分け前

：このようにしていくなら、未来が発見できる。発見できる時は、今日の私のすべき分け前を完成させなさい。今日、私がするべき分け前を大変にするのではなく、幸せで安らかにしなさい。

「聖句チェック」：そうしながら、すべきことが一つある。今日、私が教会に行って、学院福音化するべき部分の聖書箇所を一度探してみなさい。牧師が説教される本文を読んでから行くのが良い。知らない単語は探して、英語の聖書も見てみるとっとはやい。

▷ 献金の準備もあらかじめしなさい。上のことはしなければならない。聖句をチェックし、学院福音化テキストを持って聖日にフォーラムをして、上の内容を続けるなら私も知らずに刻印され世界を動かす人に変わる。こうして、勉強しなければならない。何の靈的力が無い人が勉強するならどんなに苦労するであろうか。

① アジャ：宣教地域に出て行ってすぐにアジャに行った。そこは、バルナバの故郷だ。

1. 使13:1-4 [始まり]

何をするにしても、すべてのことをこれからしなさい。聖靈の導き

を受けるために、あがいた。行く前に完全に答えを受けた。行く前に征服したのだ。伝道する時にこれを発見できないなら動いてはならない。無条件に70地域にこれをして入っていけばよい。行く前に場所、人、ことを確定しておいて入らなければならない。行く前に恵みから受けるのだ。牧師方は今からこれを、70か所セッティングするのだ。本当にこれを握った時に神様があらかじめ答えられる。道と人とことが見える時まで祈りなさい。

2. 使13:5-12 [靈的勝利]

靈的勝利からするのだ。

3. 使16:6-10 [ターニングポイント]

門が閉ざされたとき、神様は祝福を備えられてターニングポイントをくださる。私の人生に神様が一番願われていることを見つけなければならない。

②ピリピ：マケドニヤに行きなさいと言われた。そのため、ピリピに行くこととなる。

1. 使16:11 「祈り場に行く途中」ここで、ルデヤに会った。

2. 使16:13 「主がルデヤの心を開かれ」働きはみんながするが、心は神様が開かれなければならない。

3. 使16:16-18 瞳的いやしが起こる。

4. 使16:19-40 このことのために監獄に行くようになった。監獄で奇跡が起こった。

▷私たちが一步間違えると、この四つをすべて逃してしまう。私たちは祈りながら、全く答えを受けずにいる。いつも人間中心主義を使って人と会おうとする。みんなの生涯に一人でも神様が備えられた人、レムナントが行く道に神様がともにおられる人、神様が用いられる人。すると瞳的いやしが起こり、それのためにパウロは監獄に行くようになる。そこで奇跡が起こる。看守が尋ねた。「私はどうすれば救われますか」これが伝道だ。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」パウロは監獄に入るとき、ローマの市民権を見せなかつた。これぐらい人間中心主義を使わなかつた。それも神様の計画だと知っていたのだ。祈るなら（使16:11）こうなる。

③テサロニケ

1. 使17:1-2 「彼らは」パウロチームが。みんなが誰に会うのかが重要だ。

2. 使17:3-6 当為性：ここで宣べ伝えられた福音は、キリストの当為性だ。私たちは靈的問題、そこについてくるわざわい、目に見えない暗やみの権威に勝てない。それを打ち碎く単語がキリストだ。あなたにキリストが必要だ。キリストは誰か。イエスがキリストだ。神様が送られた。

3. 1テサ1:3、1:5 「信仰、希望、愛」福音の色が原色だ。「ことばだけでなく、力と聖靈と強い確信」

④コリント

1. 使2:10、9:10-15 ローマから聖靈の満たしを受けるために礼拝に参加したプリスキラ夫婦と神様が碎かれたパウロ、この二人が出会ったのだ。

2. 使18:4 彼らはレムナントがいる会堂に行った。

3. 使18:24-28 アポロが出てくる。

▷レムナントがこの靈的な祝福の中にいるなら、一番多く出てくるのが出会いの祝福だ。

⑤エペソ

1. 使19:1-7 伝道する以前に、これからしなければならない。行く前に恵みから先に受けるのだ。この伝道を一度してみなさい。

2. 会堂—神の国、講堂—弟子、みことば運動：会堂で「神の国のこと」反対者が出て来たので「講堂で弟子たちを別に立て」2年間みことば運動をした。これが、レムナントが味わう答えだ。

3. 使19:21、23:11、27:24 「ローマも見なければならない。」「ローマでもあかしをしなければならない。」「必ずカイザルの前に立ちます。」未来が見える。

□結論

1. 9つの流れ：過去、現在、未来、広さ、高さ、深さ、左右、下の人、上の人に同じように、はやく見なければならない。これを見ることできないと無視されるが、見ることができるな

らリーダーとなれる。

2. 大人—R T：既成世代を尊重しなければならないが、ついていってはならない。教会で試みに会った話をよく聞くが、道は1つしかない。真に神様の前に立ちなさい。それを指して眞の悔い改めと言う。すると神様が解決される。
器：レムナントは試みに会わずに器を準備するのだ。

3. 幸せ：レムナントは今から神様によって幸せでなければならない。

▷私は5つがとても幸せだ。呼吸しながら祈ることが、本当に幸せだ。また、神様に祈りながら神様のみことばを探して、伝道とつなげるのがとても幸せだ。その祈りを続けながら、多くの人、事件、できごとの中で神様の祝福を見つけるのだ。普通の感謝ではない。この三つからメッセージをすべて見つける。そして、出会う人に神様が願われる長所を生かす。そうしながら、他の人が理解できない幸せな事がまたある。私が海に行って深い祈りをしながら、海を見つめて釣りをするのがとても幸せだ。また、もう一つ趣味で幸せなことは、私は時計を集める。そこに対する勉強をたくさんする。私は時計を着けているのであって、時間を着けているのではない。時間は神様がなさることである。このようなことで私は幸せである。レムナントはどこにいても、どんなことが起きてても、苦しさを感じるだけであって大丈夫だ。みんなは、神様によって幸せでなければならない。

全文打ち出し

- 1課「あらかじめ征服したアジャヤ」
- 2課「あらかじめ征服したピリピ」
- 3課「あらかじめ征服したテサロニケ」
- 4課「あらかじめ征服したコリント」
- 5課「あらかじめ征服したエペソ」

あらかじめ征服

来月、レムナントがフォーラムすることは、あらかじめ征服です。とても貧しくて力のない人が良い仕事を得ることはできません。そのため、埠頭で労働をしたのです。大変でしょう。他の人は大変なので、ほとんどあきらめて、ただ食べて飲んで、このようなことをしている現場でした。ところで、祈る一人がその海を見つめて毎日のように一時間ずつ祈ったのです。そして、一つ一つ祈りの内で勉強を始めたのです。勉強というのは、学校に行ったということではなく、その海について一つ一つ実際の勉強をしたのです。

学ぶことも多く、悟ったことも多かったですが、何か盲点が見えました。みなさんが、ここまで研究をしなければなりません。他の人がしたことの尊重しながら、よく見なければなりません。けれども、その盲点が何か見なければなりません。そして、多くの先輩たちが逃している部分も発見したのです。そして、それを始めたのです。後に全世界を動かす船舶王となりました。みなさんが良く知っているオナシスという人です。本来は労働者でした。

□序論

しなければならないこと

みなさんがしなければならないこと。まず序論で見なければなりません。あらかじめ征服するためには、何かをすべきでしょう。必ずしなければなりません。

[3・9・3]

この3・9・3は、しなければなりません。これが完全に自分のものになるようにしなければなりません。そうでしょう。どちらにせよ、世界征服をしなければならないのですが、神様から与えられた一番重要なことが私のことになるようにすべきです。そのようにするためには、どのようにしなければならないのでしょうか。

[与えること（伝道）]

毎日みなさんが、私はこれ（3・9・3）によって世界を生かす指導者である。毎日一つずつこのように、与えることをしてください。誰かを助けて与えること。これが伝道の門になったりします。毎日してください。レムナントは。誰も相手がいないなら、家の両

親でも助けて、毎日一つずつしてください。

[指導者]

Keyは、みなさんは指導者となります。そうでしょう。この勉強を毎日のように実際にすべきです。

[ページ]

二番目は、毎日のように、時間がないので1ページでも本を読んでください。

[偉人]

一番良いのは、これまでの人物、偉人に関する話が良いです。レムナントの時に必ず読まなければなりません。これは、しなければなりません。

私は昔にどうしたかというと、大学生の時に1ページに、ひとりの人物について2ページ分を1ページにして1冊にまとめている本があったのです。あまりにも昔なので題名が思い出せませんが、とにかく、私が見ながら「お！」と思う事が多かったです。

今も覚えているのが、アインシュタイン（Albert Einstein）は、もともと勉強が全然できなかったのです。このようなことが、「あ。そうなのか」などなど読みながら。エジソン（Thomas Edison）のような人は何か変な病人でした。けれども、「あ…！」という部分です。また、さらにベートーヴェン（Ludwig van Beethoven）のような人は耳が聞こえなかったのに、音楽を作り出したこのような話を読みながら「お。」多くのことが挑戦となり、力となりました。

そうしながら、このようにライプニッツ（Gottfried Wilhelm Leibniz）のような人の話を聞きながら、「お。このような人はどうやって、このように、たくさんのことの勉強を幼い時にしたのだろうか」このような部分。読みながら、私が心の中で少しづつこのように驚くことがあるでしょう。このようなことが、とても重要な刻印となります。

モーツアルト（Wolfgang Amadeus Mozart）は、6歳で作曲をしました。「6歳の時にどのようにしたのだろうか」こう周囲や背後に、なにか、このような雰囲気があったのでしょうか。けれども、「あ…これが重要なのか。幼い時に」これを発見したのです。レムナントは無条件にしてください。時間なければ1ページ読んでくだ

さい。私に力となること。

[メッセージ]

半分読むだけでも良いです。必ずメッセージは1つ聞いてください。聞くことと聞かないことは後に天地の差が出てきます。みなさんが教会で牧師が説教することを詳しく聞かない人は必ず失敗します。理由はありません。失敗します。

[霊的状態]

そして、必ずメッセージは読むと、これは私の一番重要な霊的状態となるのです。これによって、答えが来たり、来なかったりします。霊的状態によって滅んだり、滅びなかったりします。とても重要です。みなさん、正しい言葉であっても続けて愚痴を言ってみてください。霊的状態がどうなりますか。いつも、家のことの心配だけをしていると、どうなりますか。これ（霊的状態）変わります。いつも、このように祝福されたことをするならどうなりますか。いつも助ける人を探しているならどうなりますか。私が教会に来て、必ず献身して、私が仕えることを見つけ、どうなるでしょうか。

[学習]

その次に短くてもしてください。私が今日、学校で勉強したことは何で、その次に何をするだろうか。ということです。これが重要な学習です。今、学んだこと、今日学んだことを見て、次のことを一度見ることは何でもないかのようでしょう。とても重要です。

[根本的実力]

これ（学習）はとても、何でもないかのように見えますが、とても根本的な私の実力を備えることになるのです。なぜ根本的なのかと言いますと、一夜漬けの勉強は、私のものになりません。試験のための勉強は私のものにならないのです。けれども、少し勉強したことを見て、その次のを見て、学校に行って先生の説明を聞くなら、「あ！」と感じます。

[未来]

その次に、最後に知らなければならないことは、みなさんは必ず

自分が行く未来を決めるでしょう。決めていない人もいるかもしれません、決めたとしても、すべてそうなるわけでもありませんが、まずは決めたとします。このように（しなければならないこと）進むなら未来が発見できるでしょう。

【分け前】

発見できたときには、必ず学業あれ、何であれ、今日の分け前を完成させてください。たとえば、私は英語が全然できない。一日に何個単語を覚える。このように私の分け前を。あまりにもたくさん決めて、担いきれないようにするのではなく、少しづつ。

私は今でも、みなさんが持っている携帯やパソコンが、私があまりにも遅れているので、私はよく使いません。私はいつもこれ（紙）を持っています。いつでも、書かなければなりません。携帯はこのようにはできず、コンピュータはこのようにできません。いつでも、一週間の間ずっとあるべきことをすべてメモしなければなりません。手ぶらで行くときは、食堂でも持って行きます。これ（紙）に一週間の間、私が明日るべき説教がすべてチェックされています。スケジュールがすべてあります。宿題して私が送らないことならること、ここにすべてして送りました。何でしょうか。今日、私がるべき分け前があります。大変にしないで、幸せに、安らかにこのようにしなさい。

「聖句チェック」

こうしながら、しなければならないことがもう一つあります。ただ、良心上、たくさんするのではなく、短く5分でも可能です。今日、私が教会に行って、今、学院福音化のこのメッセージをするべき部分、聖書箇所を一度探してみてください。これ（聖句チェック）はして行ってください。さらに、必要なら、教会や、教会で案内が出てくるでしょう。牧師が説教される本文を一度読んでみて行くのが良いです。

みなさんの人生には暴風のようなことが起こるのではなく、とてもとてもゆっくり正確に成功していくでしょう。運動も突然するよりも、あらかじめ動くのが良いです。そうでしょう。このように、神様のみことばをチェックして、深くするならもっと良くて、とにかくして教会に行ってみてください。多くのことを異なって感じる

でしょう。分かりますか。

もしも、他の分からぬことがあるなら、確認して、また、英語の聖書を一度見てみたりして、分からぬことがあるなら、こうするのもっとはやいでしょう。私は韓国人ですが、韓国の聖書でとても難しい単語があるなら、英語の聖書を見ます。すると、簡単に理解できます。また、さらに、みなさんが必要なら、聖句辞典ぐらいはあるなら良いでしょうが、最近は聖書の中によく出ています。このように。

これ（聖句チェック）みなさんがしないで行っているということです。今からしてください。教会に行って、封筒を探すのではなく、献金の準備もあらかじめしてください。いつでも、レムナントからこうしなさい。なぜでしょうか。大きな人物になるべきでしょう。いつも貧しさであえいで、みすぼらしくこう生きしていくつもりですか。みなさんは恰好よく生きなければなりません。

これ（しなければならないこと、聖句チェック）何でもないかのようでしょう。しなければなりません。本を読まない人は既に、言う事が違います。自分の主張だけをする人は、本を読まない人です。自分が正しいと思うなら強引にします。それが本を読まない証拠です。そうでしょう。本をたくさん読むなら、そうできません。

そして、学校を中、高校しか出ていないくて、大学を出ていないのは差がたくさんあります。そうでしょう。中、高校はどう教えますか。1789年にフランス革命が起こった。このように教えます。けれども、大学に行くなら、そのように教えません。いったい1789年にフランス革命が合っているのか。このような説もある。あのような説もある。ある学者はこのように言っている。ある学者はあのように言っている。私たちは、どう見るべきなのか。これが大学です。なので、大学の勉強を正しくしていない人を見ると、このように少し、科目によっては勉強をあまりしていない科目もあるでしょう。それを見ると、人がおかしいです。

レムナントがおかしくなってはいけないでしょう。みなさんが外出して、伝道をする前に、他の人に無視されることはなりません。必ず、私たちのレムナントを見て、「あの子、すばらしい」となるべきで、みなさんが、外に出て人々に無視されて、使えない、価値がないと無視される。どうやって世界福音化しますか。必ずしてくだ

さい。長い話はしません。

■本論

すると、みなさんが5週間の間にフォーラムするべきキー（Key）を申します。

アジャ

宣教地に行ってすぐにアジャに行きました。なぜ、アジャに行つたのでしょうか。そこは、バルナバの故郷です。そのため、そこでつながって行ったでしょう。

ピリピ

マケドニヤに神様はまた、行きなさいと言われました。そして、二週目にフォーラムするべきことは、ピリピに行くようになりました。

テサロニケ

そうした後に、三週目の聖日はテサロニケに行くようになります。

コリント

四週目の聖日はコリントに行くようになりました。

エペソ

その次についに、五週目はエペソに行くようになります。

では、これが、聖書、パウロが行った全体です。すると、私たちが一週でフォーラムするべき内容が聖書チェックしたでしょう。この今、学院福音化のテキストを持って、聖日にフォーラムしたでしょう。みなさんがこの（しなければならないこと）背景を持続するでしょう。私も知らずに刻印されてしまいます。私も知らずに世界を動かす人に変わるので。そうでしょう。こうして、勉強をしようと、しなくとも、やらなければ。何の靈的力も無い人が勉強をする。どんなに苦労するでしょう。すると、ある学生は、「あ。私はもう勉強できない。大変だ」と言います。すると、このような学生はしない方が良いです。大変なのにどんなに苦労するでしょうか。聖書には、そのようになつていません。みなさんが、この（しなければならないこと）祝福をしっかりと…、レムナントは持って、すてきに、このように行かなければなりません。

①アジャ

では、アジャに行ったときに、聖書いくつか、必ず参考にしなければならないことがあります。残りはテキストを見て、先生と友だちとフォーラムをしてみてください。私が話すことは、フォーラムできる重要なことだけ答えを与えるのです。

1. [使13:1-4] [始まり]

何をするにしても、始めるときは、これ（使13:1-4）からしなさい。何でしょうか。聖霊の導きを受けるために、あがいてください。行く前に完全に答えを受けてください。行く前に答えを受けたということは征服しました。オナシスの話をなぜ言ったのでしょうか。貧しいときに、あらかじめ、この人は船舶で世界を征服しました。内容が確実ならそうなります。分かりますか。もし、レムナントでなくても、伝道に行くみなさん、伝道を行ったら、これ（使13:1-4）発見できないなら、動いては、事実は、いけません。今から、そのように（使13:1-4）してください。

無条件に、今、今日私たちは大邱に来ましたが、みなさんは無条件に70地域にこれ（使13:1-4）して入ってみてください。大騒ぎになります。なぜ、この言葉が理解できないのか、私はもどかしいことがあります。人間中心主義を使わないでください。これ（使13:1-4）を一度してみてください。70か所だけ見つけてください。終わります。

私はこれ（使13:1-4）をする時間を30か所以上見つけられなかつたために、30か所したのです。それ以上は私ができません。これを終えて、確立して、また他の所に行かなければならぬから時間がないでしょう。3年を私が30か所、私はそれしか行けませんでした。一週間走っても30か所以上、行けなくて、私の事情が。なので、この事実を他の人が真似していきます。私たちの教会で爆発が起こりました。

今からしてください。何のために他の心配をしますか。これ（使13:1-4）を、70地域だけ、行く前にこれ（使13:1-4）してみてください。行く前に、あらかじめ場所、人、こと、また確定したでしょう。そうしておいて入るべきで、いきなり伝道しようと入ると、もちろん悪いことはありませんが、道すがらエチオピアの宦官に出会う事もあります。それは、別の話です。これ（使13:1-4）見てくだ

さい。パウロは徹底的に準備しておいて入りました。これは、大変な準備をするのではなく、恵みから受ける。行く前に恵みを受けるのです。この喜びは普通の喜びではありません。

牧師方はすることがあるなら、これ（使13:1-4）をしてあげなければなりません。これを企画して教えてあげるのです。「行ってみなさい」行って、錯覚するぐらいに。神様が私に働いているのかと錯覚するぐらいに働きが起こります。これを今から牧師方は無条件に70か所をセッティングするのです。してみてください。神様が本物を握ったときには、あらかじめ答えられます。そうでしょう。私たちも本当の事業が必要ですし、本当の働き人が必要なら、あらかじめ、お金をあげたりします。そうでしょう。レムナントはすべてのことに、まずこれ（使13:1-4）からしなさい。祈るなら出てきます。分かりますか。道と人と、ことが見えるまで祈ってください。けれども、パウロは時間がないので、断食して。なぜしたのでしょうか。時間がないから。はやくするために。それも大丈夫です。すると、このフォーラムをしてみてください。

2. [使13:5-12] [霊的勝利]

二番目にするべきフォーラムです。そうしたら、神様がこの門を開かれました。これが、最初に起きた事です。ここです、完全に今、靈媒師が打ち砕かれて、このようなことが起こりました。何ですか。靈的勝利からしたのです。答えではありません。すでに、みなさんが靈的勝利を宣言してしまうなら勝利してしまうのです。

では、小さな人物と大きな人物の差がどこから出てくるのかと言うと、道が閉ざされた時に差が出ます。そうでしょう。小さな人物、大きな人物、いつハッキリと出てくるのでしょうか。問題が来たときに分かります。そうでしょう。本当に立派な將軍は、戦争の時に分かります。そうでしょう。本当の船長は、嵐にあったときに分かります。見てみてください。セウォル号を見てください。船長が、着の身着のまま逃げました。本来船長は一番後に降りなければなりません。事故が起きたときは。けれども、自分が一番最初に降りてしまいました。なので、今でも解決されずに、悪口を言われています。

3. [使16:6-10] [ターニングポイント]

いつか。門が閉ざされたときに。私たちの人生には、門がよく閉ざされます。このときが重要です。神様は祝福を備えておいて、無条件にこのように変えてはなりません。ターニングポイントをくださいます。ある人は、ターニングポイントと言うと、教会を辞めてしまつて、職場も変えてしまった人がいましたが、そういうことはありません。これは。私の人生に神様が一番願っておられることを見つけ出します。門が閉ざされたときに。分かりますか。私が病気になった。痛い。どのように生きるのか。そうせずに、私の人生で一番重要な事を見つけ出さなければなりません。そのときに、かえってもっと早くやされます。

②ピリピ

【使16:11】

では、ピリピに行きました。重要な事だけ話します。マケドニアに行きなさいと言われて行きましたが、「祈り場に行く途中に」では、見てください。同じです。（使13:1-4、使16:11）。元々、祈り場があつて元々がそう関係なしに。今同じです（使13:1-4、使16:11）。「祈り場に行く途中に」ここでルデヤと出会ったのです。

【使16:14】

二番目を見てください。説明はパウロがしましたが、「主がルデヤの心を開かれ」働きはみなさんがしますが、心は神様が開かれなければなりません。そうでしょう。とても重要です。私たちのレムナントはいつも覚えなければなりません。先ほど、ここ（しなければならないこと）序論で言っておいたことがあります。これをレムナントは参考にしながら、小さくても実践を始めてください。世の中はみなさんすべて良いように見えますが、後にみなさんを苦しめます。教会でこのみことばをよく聞きなさいという理由がここにあるのです。

【使16:16-18】 [靈的いやし]

こうした後に、どんなことが起こりましたか。聖書箇所の重要な

ことだけチェックしてあげます。さきほど、ここ（使13:5-12）に起きた靈的勝利とここで起こった事を見てください。今。完全に靈的ないやしが起こります。

[使16:19-20]

そして、このことによって16章19節から40節まで監獄に行くようになります。では、この過程を一度見てください。監獄で奇跡が起こりました。これは一步間違えるとみなさんが五つをすべて逃しているかもしれません。この四つをすべて逃すこともあります。

私たちは生活もそうですし、伝道する時もそうですし、祈りながら全く答えを受けずにします。そして、いつも人間中心主義を使つて人と会おうとします。これ（使16:14）してください。「主がルデヤの心を開かれ」

先週も私が言いました。結婚式を導いたとき、私たちの教会、この女性の青年は仕事が本当にできる青年です。結婚したらマサンに行かなければなりません。二人の間で葛藤が生じたのです。「私はインマヌエル教会で働きたい」ということです。なので、私がこう言いました。「行きなさい」と言いました。人間中心主義を使ってはいけません。いや、私たちの教会にいるなら嬉しいです。良いです。行かなければなりません。行って、夫がいる所でその教会を生かして、それが神様のみこころです。夫が長老なのに。そうでしょう。

いつも出会いで人間中心主義を使います。使ってはいけません。絶対に働きは起こりません。なぜそんなことをしますか。これ（使16:14）を見てください。みなさんの生涯で一人に会うとしても神様が備えられた人。特に。特に、私たちレムナントが行く道に神様がともにおられる人。切なる願いではありませんか。そうでしょう。私たちレムナントが、どこでどんなことが起きるか分かりません。神様が用いられる人。

そうしたら（使16:14）、パウロの歴史上、宣教上二番目のことが。一番目のことはこれ（使13:5-12）であって、二番目のことはこれ（使16:16-18）です。共通点がなんですか。全部、靈的いやしが起こりました。これによって告発されて。占い師の収入が途絶えたので告発されて、監獄に入りました。そこで奇跡が起こりました。

そこで出て来た単語、有名な単語が、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」なぜか、監獄で奇跡が起こったので、看守が「どうすれば私は救われますか」こう聞きました。これが伝道です。私が「あなたは誰ですか」これではありません。「私がどうすれば救われますか」自分から聞いたのです。「教会に行ったらどうですか」と聞いたのではなく、「私がどうすれば救われますか」すぐに、答えました。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」もっと重要な事をみなさんは知っているのです。

パウロはどれぐらい人間中心主義を使わなかったのかと言うと、監獄に入るときに、ローマの市民権を見せるなら入りません。それも神様の計画があることを知りました。すでにこの（使16:11）の祈りをしているなら、このようになります。

③テサロニケ

では、このようにして、あの有名なテサロニケに行きます。

[使17:1-2]

テサロニケで一番重要なことを見てください。とても、重要なこと。「彼らは…」とあります。「彼らは」が誰ですか。パウロチームだということです。このようにみなさん。みなさんが誰に会うかが重要です。

[使17:3-6] 当為性

福音を伝えたら、このような（使17:3-6）驚くべきことが起こり始めたのです。このような（使17:3-6）が起きてしまします。これがテサロニケです。ここで（使17:3-6）宣べ伝えられた福音は何でしょうか。テサロニケで宣べ伝えられた福音が、キリストが宣べ伝えられたのではなく、キリストの当為性。

これが何のことかと言うと、イエス・キリストと言うと、私たち信じる人が言う話です。いや、未信者がイエス・キリストを使うのは難しいです。これは、その言葉ではありません。どういうことなのか。私が僧侶に会って話しました。僧侶が信じている宗教は、私が見るので、地球上で最高の宗教です。けれども、キリストではあ

りません。僧侶が持っている、幼い時から苦しんでいる靈的問題を解決することはできません。そこについてくるわざわいは、日が経つにつれて大きくなることでしょう。目に見えない暗やみの力には勝てないでしょう。それを打ち碎いた単語がキリストです。僧侶にもキリストが必要です。キリストが誰ですか。イエスがキリストだと神様が送られました。そう、この言葉です。当為性。当為性から先に話しました。なぜか。水準の高い地域だったみたいです。当為性から。

私がある医師にこう言いました。その病院に伝道しに入ってみると、あまり好意的ではない感じでした。私が副牧師のときには、伝道訓練をしている真っ盛りです。「あ。先生はお医者さんなので死なないでしょう」と言ったので、ハハハと笑いながら「何で死なないでしょうか」と言いました。「いや、病気になったら薬を飲んで、痛い時に薬を飲んでいるなら死なないでしょう」と言いました。もちろん、この人は冗談であることを知っています。自分も冗談で。そして、私が冗談でまた一言言いました。「人間は死んだら、天国と地獄が必ずあると聖書には書いてあります。無いなら本当に良いのですが、あるなら、お医者先生も行かなければなりません。神様がいないならよいのですが、靈的な神様が実際にいるならあなたは少し問題が多いです」知らないので。私の深刻な話をしたら、この人が深刻そうに聞きました。「もしも、地獄があるなら、あなたは行かなければならぬのではないでしょうか。無いなら良いけれども。聖書にはあると書かれてあります。私も地獄が無いなら良いのに。けれども、聖書にはあると書いてあります。当然行かなければなりません。行かずには済む道があります」このときは、当為性を説明しました。とても水準の高い伝道をテサロニケでした。

[I テサ1:3、1:5]

そのようにしたからなのか、テサロニケはとても噂になった教会となりました。信仰の色が違います。「信仰、希望、愛」福音の色が違います。原色です。ことばだけではなく、「力と聖靈と強い確信によって」レムナントが覚えなければならないことです。では、フォーラムしてください。

④コリント

そして、今回はコリントに行きます。コリントに行きましたが、一度見てください。

[使2:10、9:10-15]

一番重要なことは、使徒の働き2章10節にプリスキラ夫婦が参加していたでしょう。「た滯在中のローマ人たち」使徒の働き9章15節で神様が、パウロを碎いたのです。この人々が出会ったのです。本当に驚きます。どのように考えますか。ローマから聖霊の満たしを受けるために礼拝に参加した。そこに参加したプリスキラ夫婦とイエスを信じている人を殺しに行ったパウロが碎かれたダマスコで、この二人が出会ったのです。

[使18:4]

こうして、この人々がどこに行ったのか。会堂に。レムナントがいる会堂に。

[使14:24-28]

そして、使徒の働き14章24節28節にアポロが出てきます。では、私たちのレムナントが知るべき内容です。レムナントがこの靈的な祝福の中にいるなら、これから一番出てくるのが出会いの祝福です。みなさん、靈的に変に生きるなら、変な人間に出会います。これはどうしようもありません。

あるレムナントが私に質問しました。ずっと未信者が自分に結婚しようと言ってくるそうです。「どうすれば良いですか」私に尋ねました。答えは簡単です。「あなたが契約の中にいて、信仰生活もしっかりしているのに未信者が来て、あなたに結婚しようと言う時は考えてみる必要がある。けれども、あなたが世的に生きながら神様の恵みを全く受けず生きながら、その現場でその人に出会ったなら。そうなるしかないのではないか。それは考えてみなければならない。正しくないと思う」そうでしょう。そうでしょう。みなさんが信仰生活をしっかりしているのに、未信者が来た。伝道も正在するのに、良いです。することもあります。けれども、私が信仰生活を適当にして、歩き回っているのに、歩き回る人間ひとりに会っ

た。私たちは信じますという単語をどこにでも付けてはなりません。それではないです。この靈的に崩れるということを覺悟して行くなら良いです。

⑤エペソ

このようにして、ついにエペソに行きました。このエペソがまさにツラノ運動の現場です。

[使19:1-7]

これも同じように見てください。伝道する前にこれ（使19:1-7）からしなければなりません。そうでしょう。伝道する前にこれ（使17:1-2）から見つけてください。では、これ（使16:11、使13:1-4）見てください。すべて全く同じです。行く前に答えを先に、恵みを先に受けるのです。この伝道を一度しようとしてみてください。新しく。はやくしなくとも良いです。ゆっくりしてもいいです。

私は教会で何もしていることはありません。多くの人が誤解しますが。行政、私はしません。誰も知りません。あれこれ人を私が立てているかと思われますが、そのようなことはありません。関心も無く、理由もありません。本当に多くの人が錯覚をたくさんします。私が本部の中でも働き人をこうするのに、私は関心も無く知りません。気にしません。0.1%もありません。けれども、多くの人がこの（使19:1-7）祝福をかえってすべて逃してしまうのです。そうしてはなりません。みなさん、この（使19:1-7）祝福を受ける人々です。どうでもよいことに関心を持つ必要はありません。特にレムナント。

レムナントが外国に行く。みなさんが持っている専攻を生かす人に会う。奇跡のような話です。そうでしょう。神様の恵みであってこそできます。必ず覚えなければなりません。ここで重要なことが出てきます。

[会堂—神の国、講堂—弟子、みことば運動]

会堂で、「神の国のこと」とても重要なことが出てきました。そして、反対者が出て來たので「講堂で弟子たちを別に立てて」2年

間みことば運動をしました。どんなことが起こったのか。ご存知でしょう。これがレムナントが味わう答えです。これで終わりではありません。

[使19:21、23:11、27:24]

レムナントがこの祝福を味わっていると、必ず出てくるのが何でしょうか。「ローマも見なければならない」「ローマでもあかしをしなければならない」「必ずカイザルの前に立ちます」何でしょうか。未来が見えます。

□結論

[9つの流れ]

結論を結びます。レムナントはいつでも、この大人もよくできません。9つの流れをはやく把握しなければなりません。今日だけを見るのではなく、過去、現在、未来。同時に見なければなりません。車を運転する時に、前、バックミラー、サイドミラーすべて見ます。そのように。同じように見なければなりません。今日だけを見てはいけません。過去、現在、未来。また、何ですか。広さ、高さ、深さ。はやく見なければなりません。

そして、何でしょうか。左右、下の人、上の人。このように、レムナントはいつも見る習慣がなければなりません。これがないと、みなさんが無視されます。これ（9つの流れ）あるなら、みなさんがリードすることができます。必ず覚えなければなりません。

[大人—RT]

レムナントはその現場に行っても、教会に行っても、既成世代を尊重しなければなりませんが、ついていってはなりません。大人は尊敬の対象です。けれども、レムナント7人はそうではありませんでした。必ず覚えなければなりません。

最近、みなさんの教会で試みにあった話がたくさん聞こえてきました。道は1つしかありません。すべての人の道は1つしかありません。まことに神様の前に立ってください。そうでしょう。本当に心で神様の前に立ってください。人の前でどうしようもなく言い訳を

しても、神様の前に立ってください。それを指して、真の悔い改めと言います。すると、神様が解決されます。レムナントはどこに行こうと、そのようなことがあるために試みにあわないでください。

器

レムナント7人のように器の準備をしなさい、ということです。

最後に、私はあかしすることはありません。あっても、あかしをしてはならないと私は考えています。私はあかしが別に重要だと考えていません。なぜでしょうか。人の話をするようになります。ないわけがありません。けれども、すべて間違っています。神様の恵みです。あえて、あかしすることがあるなら、神様の恵みです。

[幸せ]

けれども、レムナントは今から神様によって幸せでなければなりません。そうすれば良いのです。もしも、参考に少し、少し私が少し伝達するとするなら、私は5つのことがとても幸せです。

私はこのように呼吸しながら祈るのが本当に幸せです。すると、みなさん健康もすべて回復します。私はとても幸せです。その次に何が幸せかというと、神様の、そうしながら祈りながら、神様のみことばを探して伝道とつなげるのが、とても幸せです。そうしながら、その祈りを続けながら三番目の幸せが何かと言うと、多くの人、事件、できごとの中から神様の祝福を見つけ出すのです。これは普通の感謝なことではありません。その幸せです。この三つが私を、私をとても幸せにし、メッセージをそこからすべて見つけ出し、とても良いのです。そして、会う人には、神様が願っておられる長所を生かして。とても良いのです。

そして、私は他の人が理解できない二つの幸せな事がまた、あります。私は海辺に立って、深い祈りをしながら海を見つめて釣りをするのがとても幸せです。多くの作詞がそこからすべて出てきました。幸せです。そして、どの程度、私が幸せなのかと言うと、ただこのように見るだけでも良いのです。あまりにも時間がなくて、海に行けませんが、今週は一回行ってきました。専門家の方二人と行きましたが、その専門家たちは釣れず、私だけ釣れました。こうなると、もっと幸せになります。他の人は釣れなかったのが良かつ

たというのではなく、他の人が釣れなかったのに私が釣れた。

私は、また、趣味として幸せな事がもう一つあります。他の人は絵を集めます。私は時計を集めます。この勉強をたくさんします。幸せです。なので、時計をおもに、私は秒針が動く時計を着けます。動かないのは死んでいるようなので。そのため動く時計をたくさん着けます。幸せです。私は時計を着けるのであって、時間を着けるのではありません。時間は神様がなさるのです。いろいろと。このようなことで、私は幸せです。

レムナントはどこにいようと、どんなことが起きようと苦しさを感じるだけあって、大丈夫です。みなさんは神様で幸せです。これが重要な来月のフォーラムです。お祈りします。

祈り

神様に感謝いたします。私たちのレムナントに本当に世を生かす神様の恵みを与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。